



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

UAE：ムバーダラ開発と仏政府系ファンドFSI の提携

(5月27日付現地報道)

27日付現地英字紙各紙は、アブダビ政府系ファンドのムバーダラ開発と仏政府戦略投資ファンド（FSI）が仏企業への共同投資について覚書（MOU）を締結した事を報じている。概要は以下の通り。

1. 26日、ムバーダラ開発と仏FSIは、サルコジ仏大統領のアブダビ首長国公式訪問に合わせて、仏企業への共同投資機会を模索するための枠組みを設置するMOUを締結した。このMOUには、双方が関心を有する分野又は仏企業として、技術、健康科学、バイオテクノロジー、再生可能エネルギー等が含まれている。
2. ムバーダラ開発のハルドゥーン・ムバーラク CEO は、本パートナーシップは、優れた財務リターンを生み出すのみならず、アブダビの経済多様化に資し、かつ首長国民に現実的で持続的な恩恵をもたらすような幅広い産業のビジネスを第一級の国際機関と共に開発するという我々の戦略に合致するものであると述べた。
3. FSI のギル・ミッシェル CEO は、本合意は主要な長期戦略的投資機関と協力することにより、我々の投資能力を高めていくというFSIの決定を反映したものである。FSIはその投資力強化により仏の競争力向上に努めており、ムバーダラ開発との初の共同投資に期待していると述べた。

【補足情報】

仏国・UAE 関係（2007年1月～現在）

- |            |  |
|------------|--|
| 2006-07-21 | UAE のハリーファ大統領は仏国を訪問し（16日～22日？）、同国のシラク大統領と会談した。会談では、レバノン情勢、イラク情勢、中東和平、二国間関係などが議題となった。                       |
| 2006-07-22 | 仏国のアリオ・マリ国防相はUAEを訪問し、同国のムハンマド・マクトゥーム副大統領兼首相、アブダビのムハンマド皇太子と各々と会談した、会談では、二国間関係、中東情勢、レバノン情勢、パレスチナ情勢などが議題となった。 |
| 2006-09-09 | 仏国のドストブラジ外相はUAEを訪問（9日～10日）し、アブダビのムハンマド皇太子（連邦軍副司令官）と会談した。会談では、二国間関係、地域・国際情勢が議題となった。                         |
| 2007-03-06 | UAE と仏国は、ドバイにルーブル美術館の分館を開設する合意に調印した。   |

- 2007-03-11 仏国のドストブラジ外相は UAE を訪問し、同国のムハンマド連邦軍副司令官（アブダビ皇太子）、アブドッラー首相と各々会談した。ドストブラジ外相はムハンマド副司令官に対しシラク大統領発ハリーファ大統領宛の二国間関係、地域情勢についての親書を手交した。なお、会談では最近の地域・国際情勢、両国の関心事などが議題となった。
- 2007-07-18 UAE のアブドッラー外相は仏国を訪問し、同国のクシュネール外相と会談した。会談では、二国間関係強化策、最近の地域情勢、クシュネール外相の UAE 訪問招請が議題となった。
- 2007-07-20 UAE のハリーファ大統領は仏国を訪問し、同国のサルコジ大統領と会談した。会談では、両国の協力・友好関係を増進させる方途、地域・国際情勢が議題となった。仏国側は、同国が UAE の原子力発電計画を支援することを表明した。
- 2008-01-07 仏国のアルバネル文化相は UAE を訪問し、アブダビの文化遺産庁とルーブル・アブダビ美術館運営協定を締結した。
- 2008-01-13 仏国のサルコジ大統領は同国の企業が UAE に原子炉 2 機を建設するとの報道が出ていることについて、UAE と核協力協定に調印する計画があることを認めた。
- 2008-01-15 仏国のサルコジ大統領は UAE を訪問した。両国は、民生用の核協力合意に調印した。仏国政府は、訪問にあわせて仏国軍が UAE に 500 名を常駐させる軍事基地を設置すると発表した。
- 2008-02-23 アブダビで、UAE、カタール、仏国が参加した共同軍事演習「湾岸の盾 1」が実施された。同演習は、3 月 5 日終了。
- 2008-05-21 UAE のムハンマド・マクトゥーム副大統領は仏国を訪問し、同国のサルコジ大統領と会談した。会談では、両国の歴史的友好関係、政治・軍事・経済分野における強固で包括的な関係のための新しいメカニズム構築、地域・国際問題などが議題となった。
- 2008-10-08 ムバーダラ開発と仏国のヴェオリア・ウォーター社は、中東・北アフリカ地域での水製造及び排水回収浄化に関する合併会社を設立すると報道された。
- 2009-04-27 スウェーデンの The Stockholm International Peace Research Institute は、2004-2008 年の中東諸国への武器輸出についての統計を発表した。同期間中に武器輸出は 38%増加した。最大の輸入国は UAE で、F-16E を 60 機、仏国のミラージュ 2000-9 を 50 機購入している。購入額の割合は、UAE34%、イスラエル 22%、エジプト 14%、イランは 5%。輸出側では、米国が 31%、ロシア 25%、独国 10%、中国 11%
- 2009-05-23 仏国の Dassault Aviation 社は、自社製造のラファル (Rafale) 戦闘機を UAE に売却する交渉が進行中である旨明らかにした。この取り引きが成立すれば、同戦闘機が海外に販売される初のケースとなる。しかし、仏国のコシ

ユネール外相は UAE 訪問中の 25 日、同戦闘機販売の取り引きがまとまったか否かについての言及を避けた。

- 2009-05-25 経済専門サイト「Business Intelligence Middle East」は、UAE のアブドゥラー外相が、国際再生エネルギー機関（IRENA ; International Renewable Energy Agency）の本部を自国に置く事を要請した旨明らかにし、仏国がそれを支持してくれることを希望すると述べた、と報じた。
- 2009-05-25 UAE の首都アブダビで海事安全保障に関する会議（a maritime security conference）が開催され、ホストのハリーフア UAE 大統領のほか仏国のコシユネール外相らが出席。翌 26 日にアブダビに開設される仏国軍事基地は、脆弱なこの地域における同国の同盟国を支援・訓練する事が目的と発言。また仏国が湾岸地域、地中海、インド洋の海運の安全を保障する事を確認した。
- 2009-05-25 経済専門サイト「Business Intelligence Middle East」は、UAE では 2017 年までに 4 万メガワットの電力需要が見込まれ、それを賄うために原子力発電所数基の建設を計画していると報じた。米国の原発建設会社 GE と、日本の東芝の子会社 Westinghouse Electric 社が、400 億ドルと見込まれるこの市場への参入を狙っている一方、仏国の Total、Suez、国営原子炉建設会社 Areva は昨 08 年、UAE に第 3 世代原子炉 2 基の建設を計画している旨明らかにする等、競合が予想される。
- 2009-05-26 UAE 訪問中の仏国のサルコジ大統領は、仏国にとって湾岸地域で最初の軍事基地となる「サラーム基地」をアブダビに開設した。UAE で仏国は原子力発電所の建設、最新鋭のラファル（Rafale）戦闘機の売込みを狙っている。戦略的要衝であるホルムズ海峡近くに設けられるこの空海軍基地には約 500 名の軍人が駐留。イランは仏国によるこの動きを地域の安全保障に資さず、UAE に対しては外国の地域戦略に従属する事がもたらす結果について警告した。